

「雲原砂防イベント」 (よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)



京都府福知山市
「雲原砂防イベント」実行委員会



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

① 社会資本の概要

雲原砂防は、昭和9年の室戸台風による災害を契機に実施された我が国の砂防計画の先駆けであり、周辺の村づくりと一体に人々の暮らしを向上させた歴史的価値のある砂防施設群です。

当時の砂防事業が周辺の村づくりと一体に行われ人々の暮らしを向上させた歴史的価値と砂防施設を含むすばらしい景観が評価され、平成18年7月に



雲原地域の風景

砂防施設としては初めて国の登録記念物として登録されました。

雲原砂防は、砂防の理想とする砂防施設の配置や流路工の線形改良などの計画をそのまま実施した日本で初めての工事であり、「日本近代砂防」への出発点となるものです。



国登録記念物第1号となった「雲原砂防施設群」

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

雲原砂防施設群の登録と時を同じくして、過疎少子高齢化が進む雲原川流域の地域住民や各種団体が集い、地域の英知を結集して歴史的資産である「雲原砂防」を活かした地域づくりを展開するため、実行委員会を設立しました。

砂防施設や地域の名勝等を巡る地域探訪ツアーや、雲原川でのドラム缶転がしタイムレースを毎年

実施しており、この豪快なレースは、毎回来場者が千人を超える世界にひとつの大会となりました。地域の交流拠点となっている「みんなの水車広場」では、復元した水車で精米した水車米を地域ブランド米として販売、地域特産物を使った販売所の整備・運営など、様々な取組を行い、地域住民の手による地域活性化を進めています。



世界でひとつの「ドラム缶転がしタイムレース」



地域資源を活かした地域探訪ツアー

③ 活動の成果や波及効果等

取組を通して住民の間でのコミュニケーションが密になり、若い女性が移住したり、Uターン者も出るなどの定住化にもつながっているばかりか、移住者が農家民宿を運営したり、老舗のそば屋を承継するなど地域に大きな変化をもたらしています。

近年では、交流を通じて「雲原ファン」が増え、その方々の力も合わせてイベントの企画運営をするなど地域外との交流が広がっています。



地域の交流拠点として賑わう水車広場



力をあわせて復元した水車と、水車で精米した地域のお米

●● 喜びの声 ●●



受賞者

「雲原砂防イベント」実行委員会
委員長 清水 順次

コメント

このたびは、身に余る賞をいただき、地域としても大変驚いています。この誉に恥じぬように、今後とも地に足をつけてみんなで一步一步前進していきたい。

究極の目標は、再びこの地域に学校が再開校出来るような地域づくりを目指して、みんなで取り組んでいきます。

活動の内容

雲原砂防の紹介、地域探訪ツアー、地域の情報発信、交流施設の整備・運営 など

活動の経緯

- 平成19年 実行委員会設立
ドラム缶転がしタイムレースを開催
地域探訪ツアーを開催
- 平成20年 地域の交流拠点整備
みんなの水車広場で水車復元
北陵うまいもん市「雲原店」の運営開始

所在地

京都府福知山市雲原 661-2

活動主体及び連絡先

「雲原砂防イベント」実行委員会
(090-1900-2048)

対象となる社会資本

雲原砂防施設群
※管理者：京都府中丹西土木事務所



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編